



大切なこと・・・お父さん、お母さんへ

● せきたてずに子どもを見守る

親が子どもをせきたてずに見守れば、子どもはゆったりと行動することができます。そして、忍耐や根気を学びます。

途中で投げ出さずにやりとげる姿勢は、努力して学習するものではないでしょうか。親であるわたしたちが辛抱強く子どもの話を聞こうとすれば、子どもも根気強くやりとげることを学びます。

私たち親が普段から子どもをせきたて、ちょっとしたことでいちいち苛立っていたらどうでしょうか。子どもに何か教えるときには、子どもより私たち大人が「待つこと」をしなければなりません。

子どもに教える前に、わたしたちおとなこそが、「我慢して待たなくてはならない」のです。

● 子どもはゆっくり学んでいく

家庭生活を振り返ってみると、子どもが人生に必要なさまざまなことを学ぶチャンスがたくさんころがっていることがわかります。親が年中「早く、早く！」と急いでばかりいると、子どもはそれに気が付きません。常にあわただしい生き方を学び取ります。「さっさとしてしまいなさい」と言うのは、子どもたちの人生を追い立てるだけのことになります。

子どもにはゆったりと最後までやりとげる時間を与えてあげましょう。これは子どもが小さいときほど大切です。

家庭生活のなかで、子どもは時間の管理の仕方も学んでいきます。そのお手本は、親であるわたしたちの時間の使い方です。私たちが重要な仕事をぎりぎりまでほうっておくようなことを繰り返していたら、子どもたちもそのパターンを学ぶのは当たり前ではありませんか？

そうなる私たちは「早く早く！さっさとしてしまいなさい」と子どもに言い続けなければなりません。「早く早く！」とせきたてるのは、親にとっても子どもにとってもプレッシャーです。

子どもに何かをさせようとするときにも「早く早く！」とせきたてないでください。必要な時間をかけさせれば、ゆったりとした家庭生活が送れます。